

1. 研究課題名：持続可能な発展と生物多様性を実現するコミュニティ資源活用型システムの構築

2. 研究代表者氏名及び所属：矢坂 雅充（東京大学）

3. 研究実施期間：平成 23～25 年度



4. 研究の趣旨・概要

「生物多様性の確保」と「持続可能な発展の実現」は現代社会における喫緊の課題です。本研究では、日本、東南アジア、アフリカ、ラテンアメリカの農村を対象として、人と人のつながりを活用した環境保全型農業の推進によって、この二つの両立を可能にする制度を、各地域における研究成果をふまえて設計します。

それは、民衆が培ってきた智慧、「民衆知」に着目する「ローカルな視点」と国際比較によって問題を解決しようとする「グローバルな視点」を併せ持ち、さらに社会ネットワーク分析と農家経営分析を援用しようとする点で新機軸を有する研究です。本研究は、途上国での人と人のつながり方に密接に結びついた環境保全型農業のあり方をふまえて、今後の日本における環境保全型農業の発展に資すると同時に、環境保全に配慮する政府開発援助の発展にも寄与します。

5. 研究項目及び実施体制

- ①アフリカにおける有機農業とコミュニティ資源に関する研究（東京大学）
- ②ラテンアメリカにおける遺伝子組み換え品種の導入とコミュニティの変容に関する研究（東京外国語大学）
- ③アジアにおける持続可能な発展と生物多様性確保のための新しいシステムに関する研究（東京大学）

6. 研究のイメージ

